

# 知的財産権使用許諾書（サンプル）

## 第1条（当事者）

本契約は、Heyete Group Holdings（以下「甲」という。）と、以下に署名する個人または団体（以下「乙」という。）との間で締結される。

申請者情報（乙）

氏名／団体名：サンプル

住所：\_\_\_\_\_

電話番号：\_\_\_\_\_

メールアドレス：\_\_\_\_\_

## 第2条（定義）

- 「プレスキット」とは、甲が本契約に基づき提供する報道・個人利用向け素材一式（ロゴ、画像、文章等）を指す。
- 「使用目的」とは、甲または甲のサービス・プロダクトに関連する報道、記事掲載、SNS投稿等を指す。
- 「素材」とは、プレスキット内の各ファイル、ロゴ、画像、文章、デザイン等を指す。

## 第3条（使用許諾）

- 甲は乙に対し、プレスキットの素材を本契約で定める使用目的・範囲内で使用する非独占的な権利を許諾する。
- 乙は、プレスキット素材を改変せず、甲及び被写体の信用・イメージを毀損しない形で

使用するものとする。

3. 乙は、第三者に対して再使用权を許諾できない。

## 第4条（知的財産権の帰属）

1. Heyete、Heyete のロゴ、サービス名称、デザイン、文章、画像等は、甲が保有する知的財産である。
2. 本契約に基づく使用は、当該知的財産権の譲渡、使用許諾、または独占的利用権の付与を意味しない。
3. 乙は、本契約に基づく使用に際し、知的財産権帰属文を表示するものとする。ただし、SNS 等短文投稿では省略可とする。
  - a. 例：

## 第5条（禁止事項）

1. 乙は、以下の行為を行ってはならない：
  - a. 無断で営利目的に使用する行為
  - b. 素材を改変する行為
  - c. 当社が書面又は正式に認めていない行為
  - d. 当社または被写体の信用・イメージを毀損する行為
  - e. 誤解を招く表現で素材を使用する行為
2. 個別に書面で許可を得た場合のみ、上記の制限はその許可内容に従うものとする。

## 第6条（ハッシュ値・タイムスタンプ）

1. 正式な許可書は署名付き PDF として発行され、OpenTimestamps 等のブロックチェーン技術により登録される。
2. ハッシュ値およびブロックチェーン登録は、誰でも確認・ダウンロード可能である。
3. 素材を使用できるのは、正式に許可を受けた乙本人のみである。
4. 正式な許可書の PDF およびハッシュ値は、当社の GitHub アカウント上に公開され、誰でも確認・ダウンロード可能である。GitHub は、米国およびその他の国における GitHub, Inc の登録商標または商標です。
5. 素材を使用できるのは、当社の GitHub アカウント上のハッシュ値に対応する正式に許可を受けた乙本人のみである。
6. 本書に記載された当社の知的財産権に加え、GitHub 上に公開された許可書 PDF および OpenTimestamps によるブロックチェーン登録も、正式な使用許可の証明として取り扱うものとする。OpenTimestamps はオープンソースプロジェクトです。
7. 上記の証明に基づき、素材を使用できるのは、正式に許可を受けた乙本人のみである。

## 第7条（素材の扱い）

1. プレスキット内の規定（ロゴ周囲の余白・配置ルール等）を遵守するものとする。
2. 素材は、原則プレスキットから ZIP ダウンロードしたもののみを使用可能とし、直接保存やコピーは禁止する。
3. 他社商標や知的財産が同時に表示される場合、乙の素材はメインコンテンツでない限り、相手の素材より小さく表示すること。

## 第8条（契約期間）

本契約の契約期間は、署名日から1年間とする。

## 第9条（解除）

乙が本契約に違反した場合、甲は書面による通知なしに契約を解除できる。

## 第10条（準拠法・紛争解決）

本契約は日本法に準拠する。

本契約に関する紛争は、東京地方裁判所または乙の所在地管轄裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

## 第11条（署名欄）

申請者（乙）署名：サンプル（実際には手書きの実筆または電子署名が必要となります。）

日付：\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

承認（甲：Heyete Group Holdings）：\_\_\_\_ 日付：\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_

日

## 第12条（サンプル許可書）

本書はサンプルであり、正式な許可書は甲が署名した PDF および当社の GitHub アカウント上に登録された OpenTimestamps 登録済みハッシュ値をもって有効とする。

## 第13条（遵守事項）

本契約に従わない使用が発覚した場合、甲は素材使用の即時停止・損害賠償請求

等の措置を取る権利を有する。